

\*\*\* ある日の育児日記から \*\*\*  
 \*\*\* (23) 佐藤 和代 \*\*\*



圭は三歳と五か月。このごろ、男女の区別にこだわっています。「これは赤だから女の」「これは男の」といちいち確認。「このケーキは女？」「この本は男？」と一日中聞かれていると、いっそ男性名詞と女性名詞の区別があればいいのに、と思ってしまうです。

ケーキの男女はともかく、色や遊びについてはいつも「女の子と男の子で違うってことはないのよ」と反論していた私です。あまり「女」を意識してほしくないと思うのです。

でも、先日、家に六歳と三歳の姉弟が遊びにき

たときのこと。圭はお姉ちゃんとはかり遊んで、男の子はどうしてもはみ出してしまおうのです。お姫さまごっこで盛り上がっている横で、男の子はひとり「バキューン グワーン」とヒーローごっこ。そんなようすを見ていて、考えさせられてしまいました。

そうか、圭は毎日保育園で、こんなふうに男女別の遊びをしていたのか…。としたら、私の「女の子と男の子とは違わない」なんて言葉は、ずいぶん

そらぞらしく聞こえていたのではないかしら。

毎日お姫さまごっこをしている子を見ると、かつてボーヴォワールなど愛読した母は、何とも複雑な気分です。

誤解されていた方もおられるようですが圭は女の子です。急のため。



誤解されていた方もおられるようですが圭は女の子です。急のため。